

# 全道6月中の交通事故分析について (過去5か年死亡・重傷事故)

令和6年4月22日  
警察本部交通企画課

## 【概況】

- 死亡事故全体の事故類型では、車両単独が最も多く、次いで人対車両が多い。  
重傷事故は、人対車両が最も多く、次いで自転車対車両が多い。
- 四輪乗車中の死者のうち、5割がシートベルト非着用で、非着用のうち7割以上がシートベルトを着用していれば助かった可能性が高い。
- 人対車両は、時間帯別では死亡事故は20から22時、重傷事故は16から18時が最も多い。  
地形別では市街地交差点及び市街地の直線で9割以上を占めており、死亡事故は全て市街地で発生している。  
第1当事者(車両)の違反別では、死亡事故、重傷事故ともに歩行者妨害が最も多い。  
年齢層別死傷者数では、65歳以上が最も多く、全体の6割以上を占めている。  
道路横断中の死者のうち、歩行者の約6割に信号無視などの法令違反あり。
- 正面衝突及び車両単独は、時間帯別では死亡事故は14から16時が最も多く、重傷事故は12から14時が最も多い。  
地形別では非市街地カーブの発生が死亡事故全体の5割以上を占めている。  
路線別では国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。  
第1当事者の年齢層別では、65歳以上の高齢運転者が突出して多い。
- 自転車対車は、時間帯別では死亡事故は6から8時が最も多く、重傷事故は8から10時が最も多い。  
地形別では市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。  
事故類型別では、出会い頭が最も多く、その内、自転車側の3割以上に信号無視等の法令違反あり。  
年齢層別死傷者数では、65歳以上の高齢者が突出して多く、そのうち5割は75歳以上である。

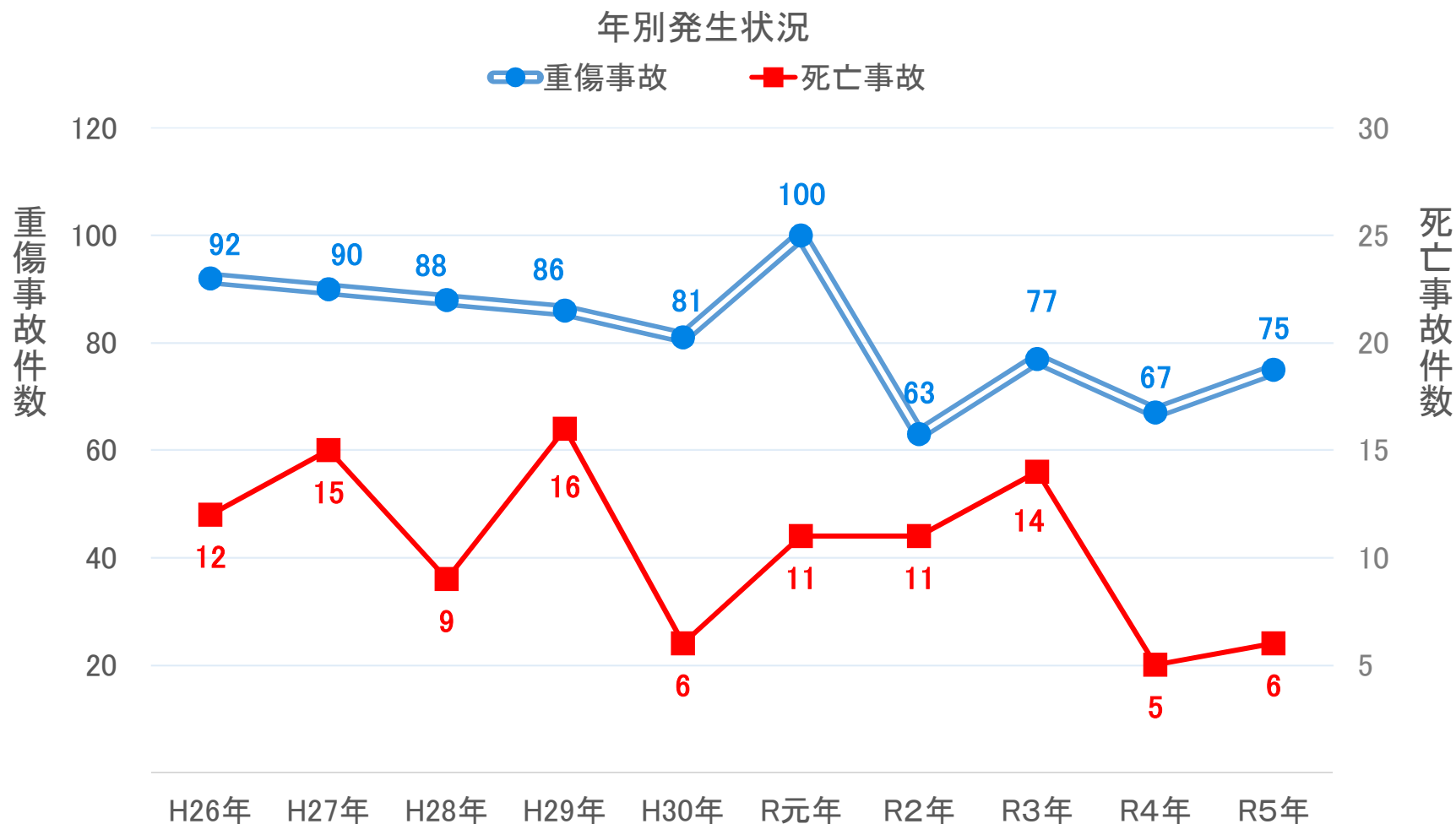
注1 本資料は、令和5年12月末日までに入手した6月中発生 of 事故データにより作成したものである。

注2 「重傷」とは、1か月(30日)以上の治療を要する負傷をいう。

注3 「第1当事者」とは、最初に交通事故に関与した車両等(列車を含む。)の運転者又は歩行者のうち、当該交通事故における過失が重い者、又は過失が同程度の場合には人身損傷程度が軽い者をいい、本資料中の「1当」とは、第1当事者を省略した表記である。

## 1-1 年別死亡・重傷事故発生状況(過去10年)

年別の死亡事故件数、重傷事故件数は、増減を繰り返しながら減少傾向で推移しているものの、令和5年は死亡事故、重傷事故ともに前年より増加している。

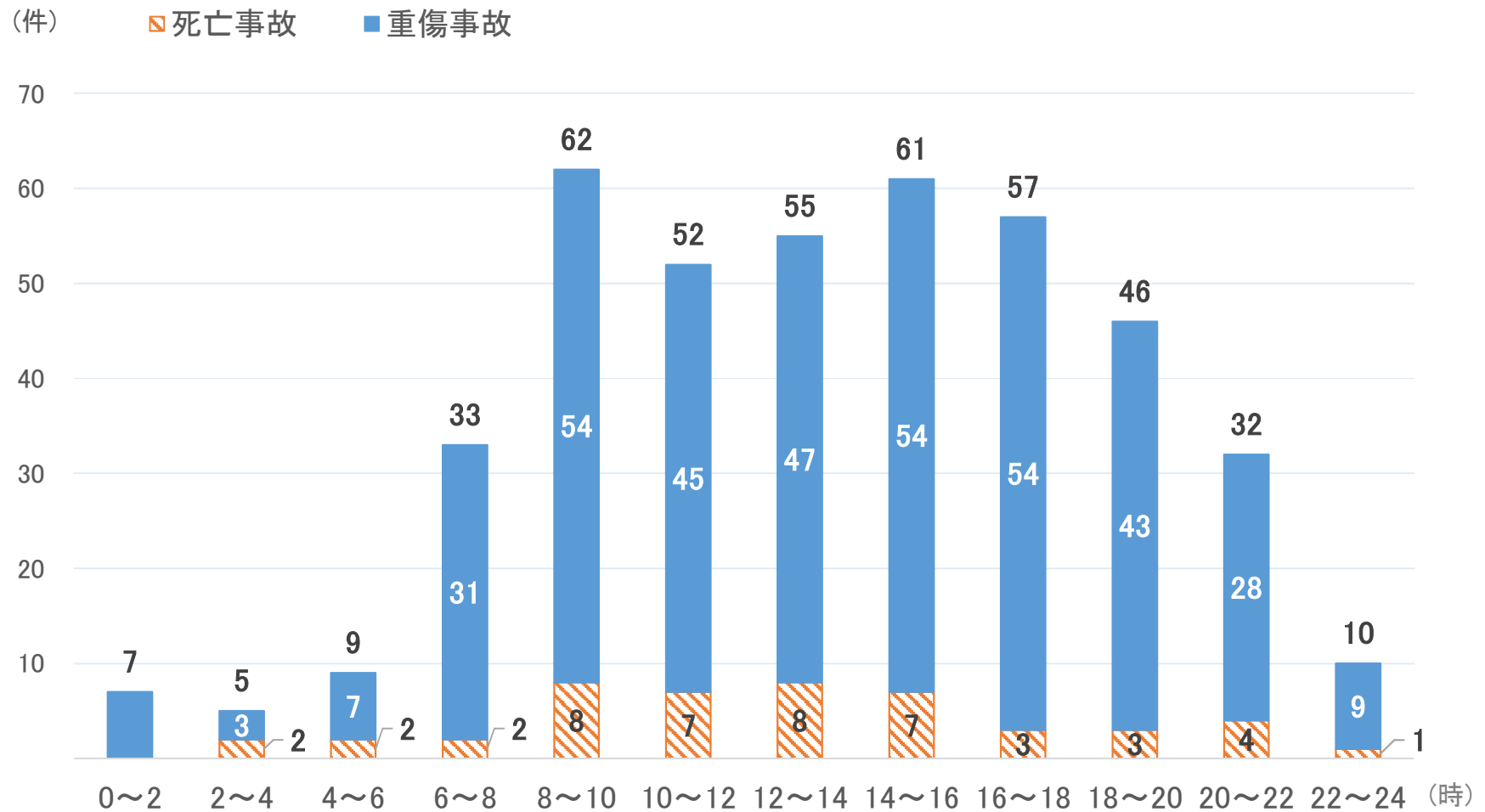


## 1-2 時間帯別死亡・重傷事故発生状況(過去5年累計)

死亡事故件数は、8～10時及び12～14時が最も多い。

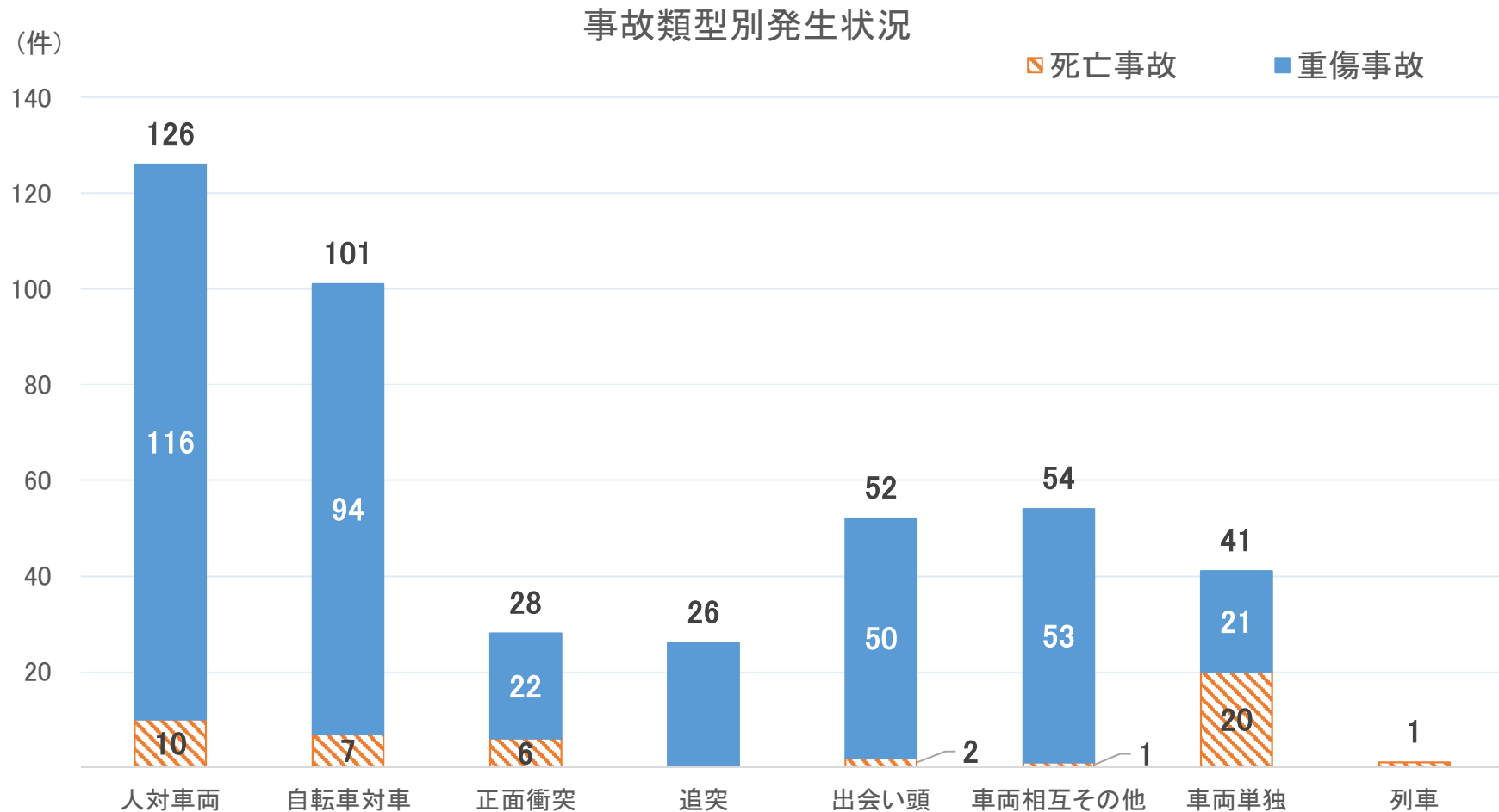
重傷事故件数は、8～10時、14～16時及び16～18時が最も多い。

時間帯別発生状況



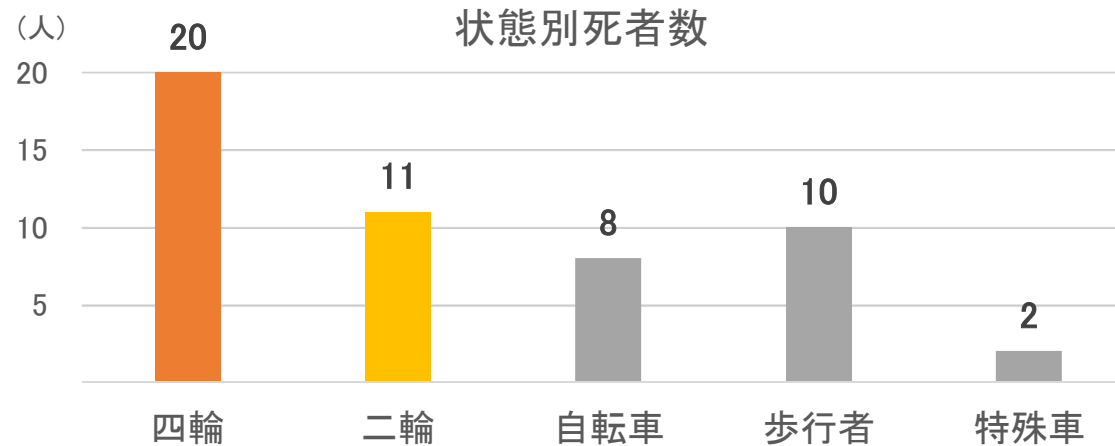
### 1-3 事故類型別死亡・重傷事故発生状況(過去5年累計)

死亡事故件数は、車両単独が最も多く、次いで人対車両が多い。  
重傷事故件数は、人対車両が最も多く、次いで自転車対車両が多い。

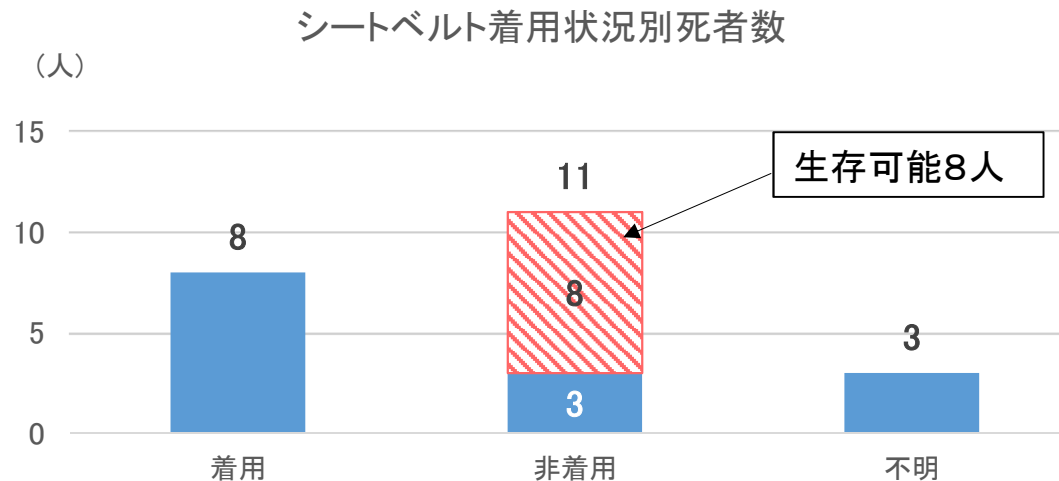


## 1-4 状態別死者数、シートベルト着用関係(過去5年累計)

状態別死者数は、四輪乗車中が最も多く、次いで二輪乗車中が多い。

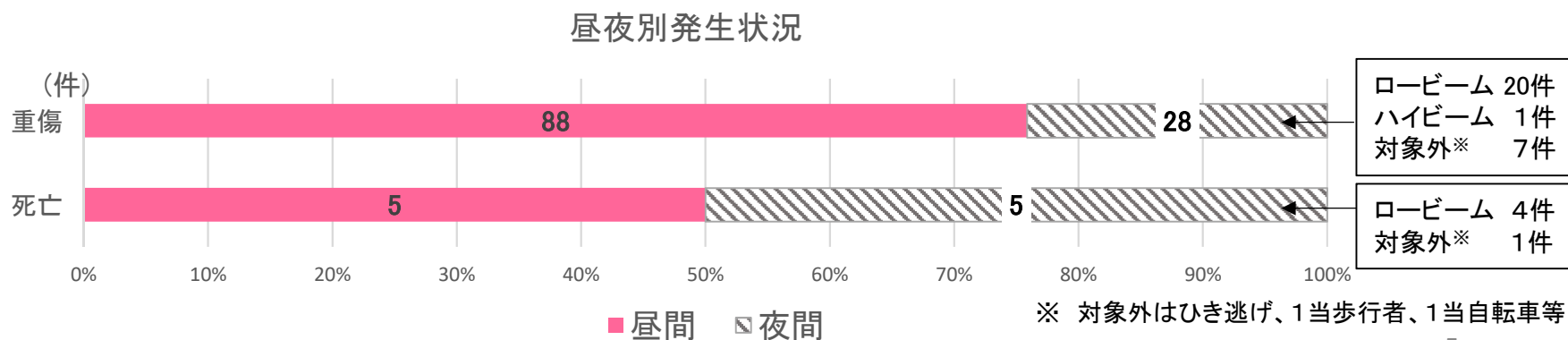
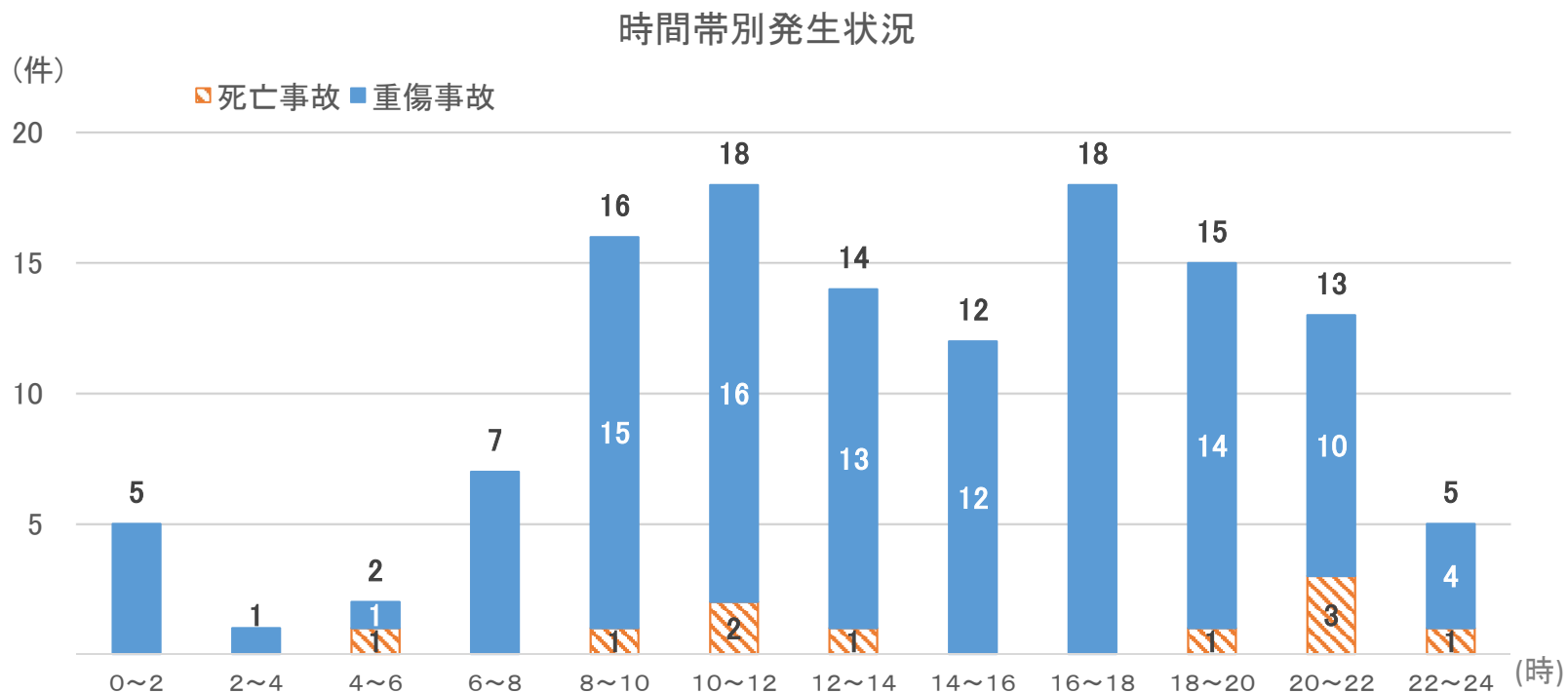


シートベルト着用対象者(四輪及び特殊車)の死者22人中、シートベルト非着用者は11人(50.0%)であり、このうち8人(72.7%)はシートベルトをしていれば助かった可能性が高い。



## 2-1 人対車両における時間帯別発生状況(過去5年累計)

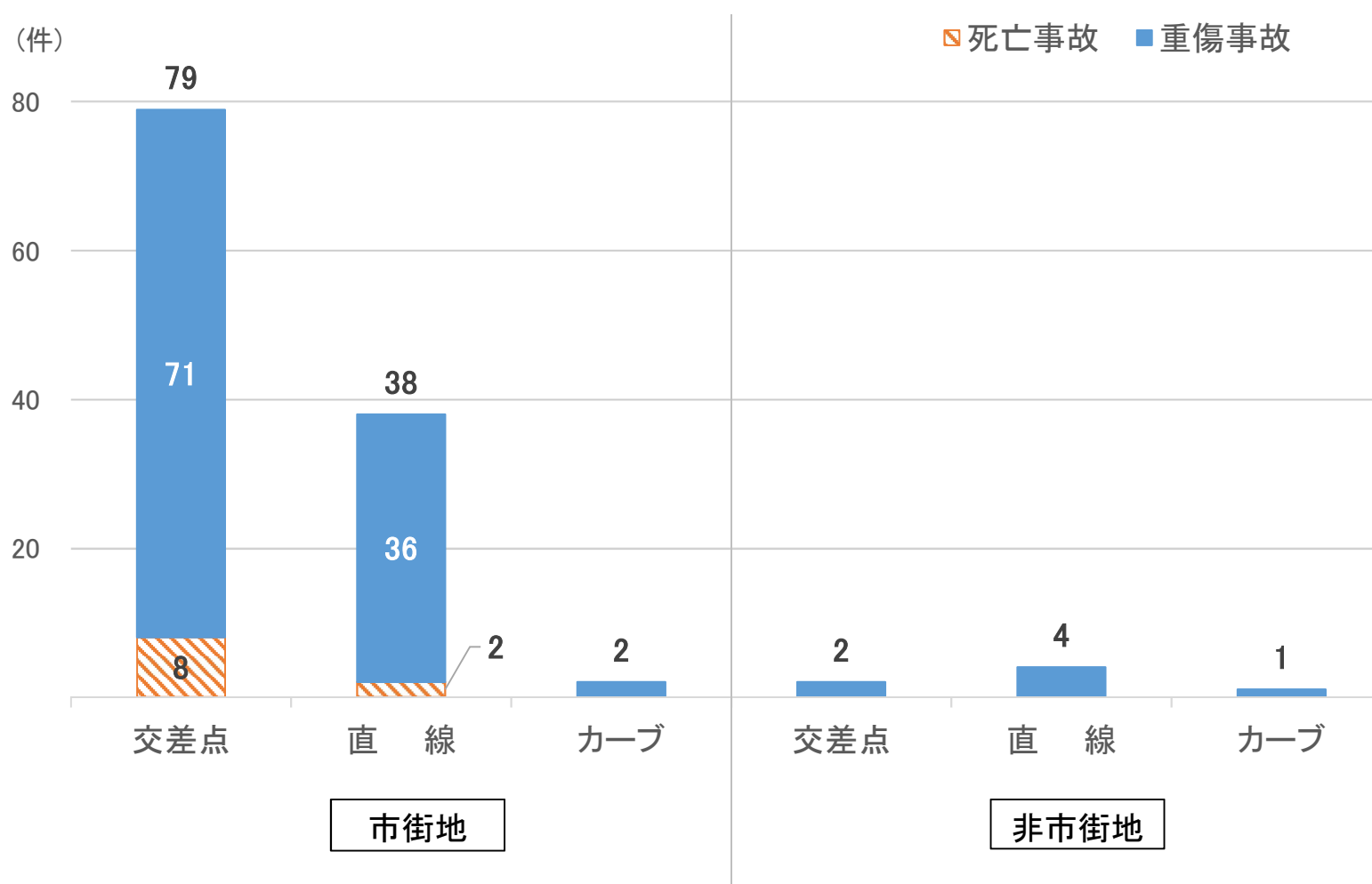
死亡事故件数は、20～22時が最も多く、次いで10～12時が多い。  
 重傷事故件数は、16～18時が最も多く、次いで10～12時が多い。



## 2-2 人对車両における地形別発生状況(過去5年累計)

市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。  
死亡事故は全て市街地で発生している。

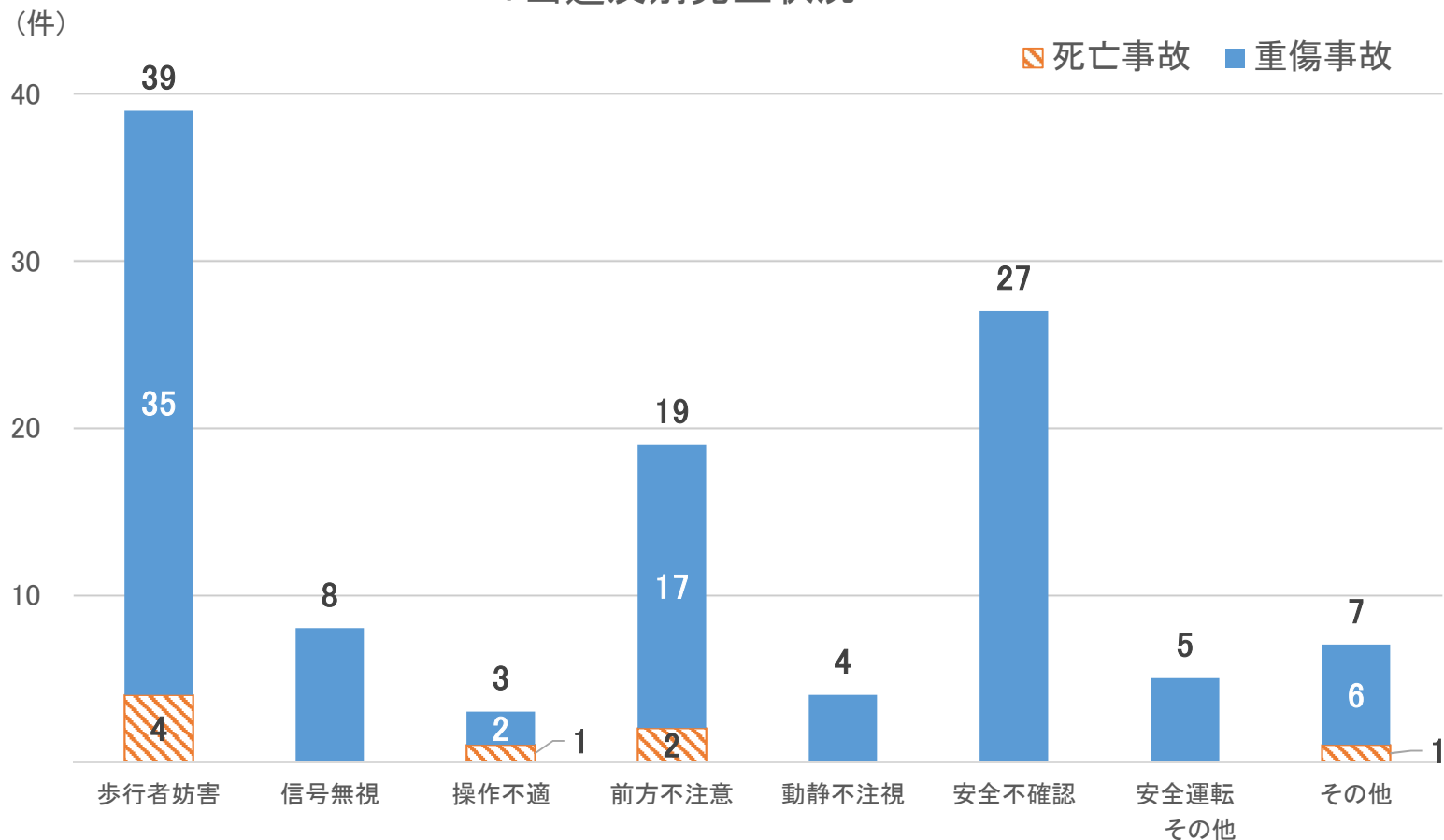
地形別発生状況



## 2-3 人対車両における1当の違反別発生状況(過去5年累計)

死亡事故件数は、歩行者妨害が最も多く、次いで前方不注意が多い。  
重傷事故件数は、歩行者妨害が最も多く、次いで安全不確認が多い。

1当違反別発生状況

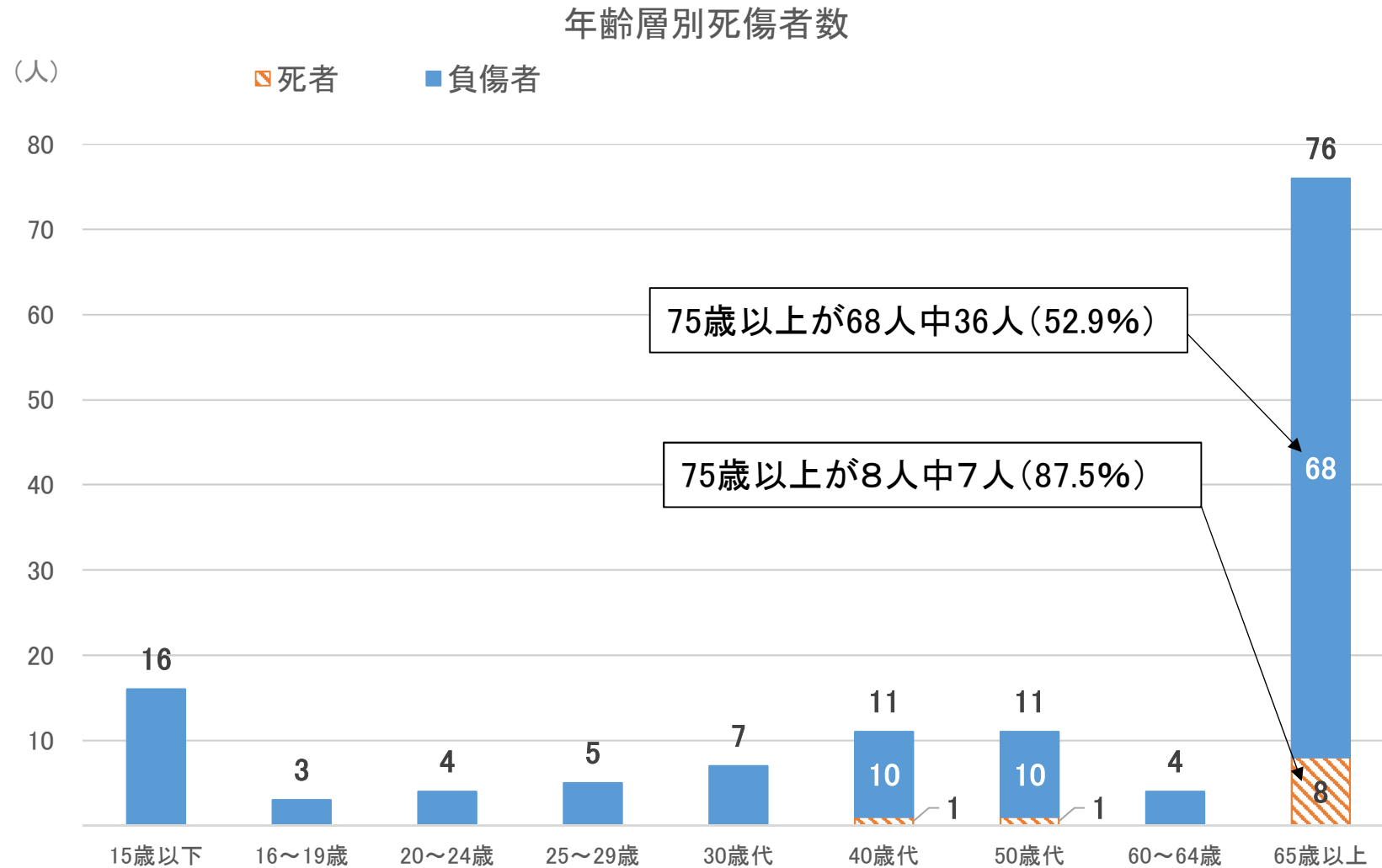


※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く



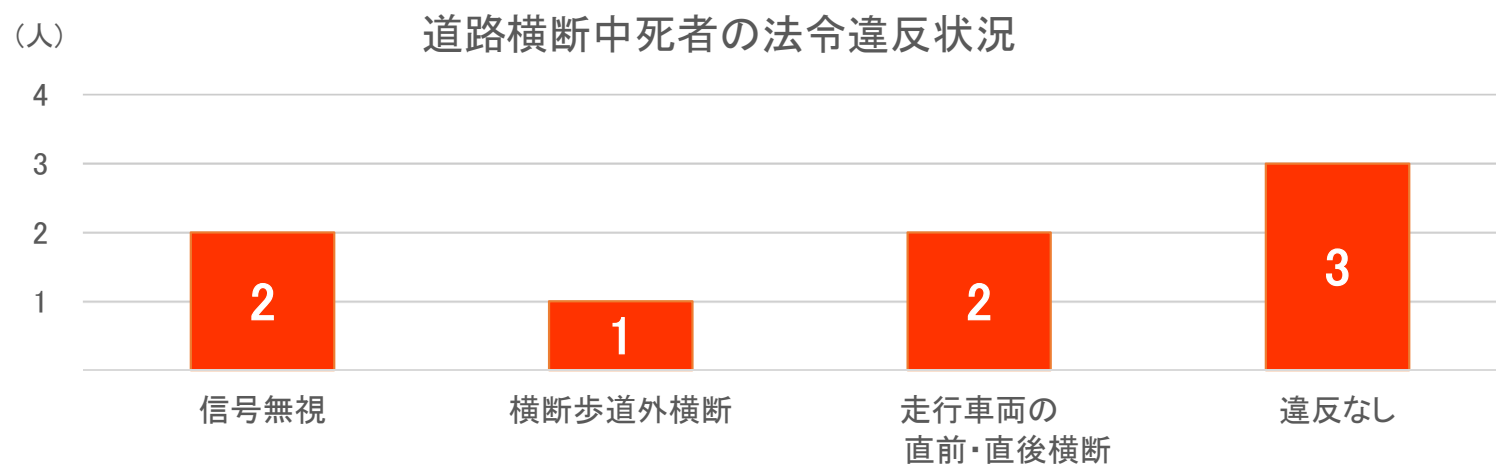
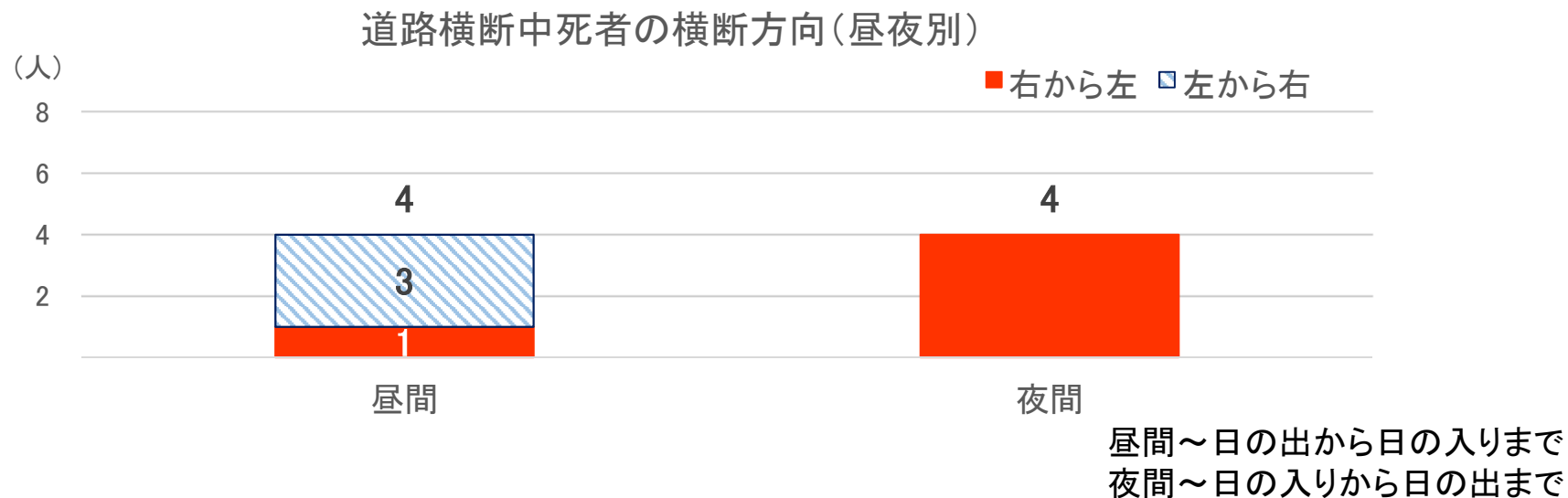
## 2-4 人対車両における年齢層別死傷者数(過去5年累計)

65歳以上が最も多く、全体の約6割を占めている。



## 2-5 人対車両における歩行者の横断方向別死者数・法令違反状況(過去5年累計)

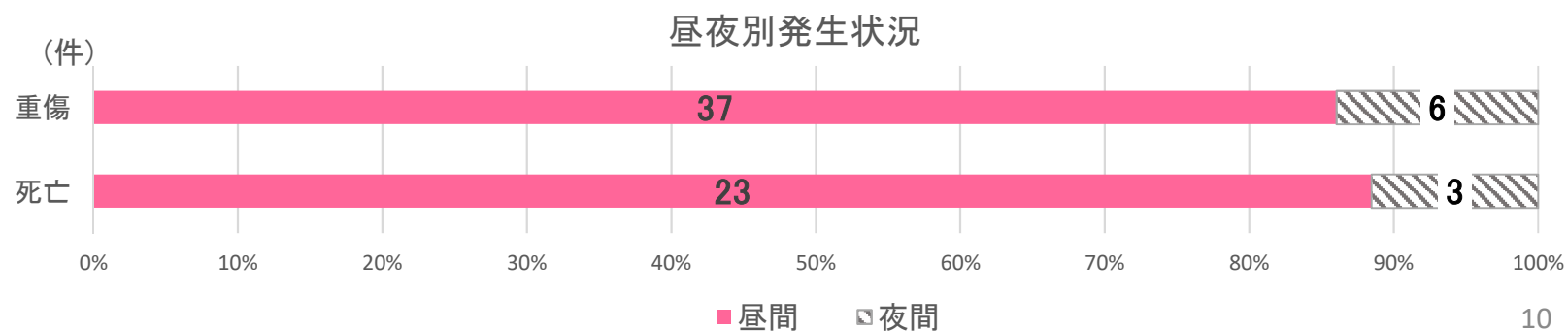
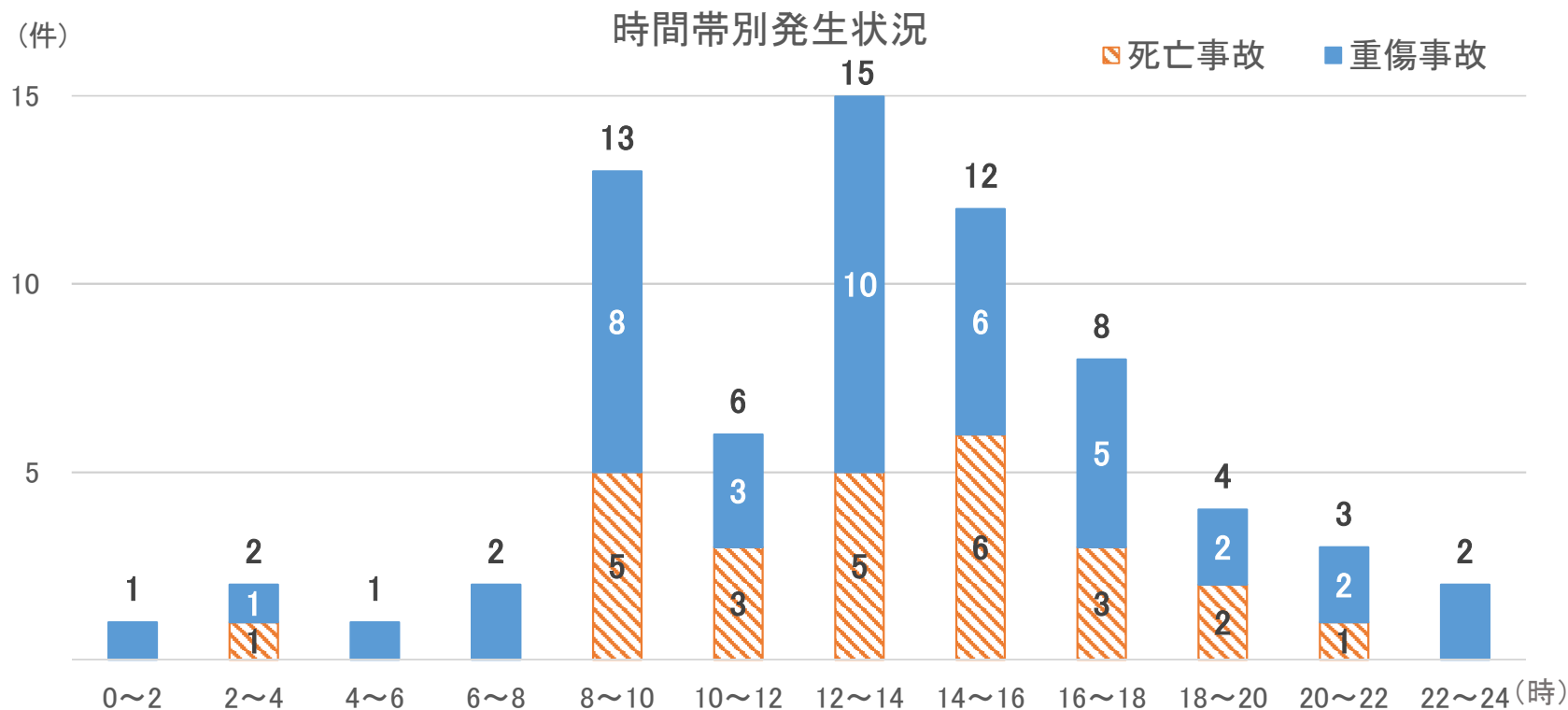
道路横断中の死者8人のうち、昼間が4人、夜間は4人となっており、夜間の死者全員が右から横断中である。



道路横断中の死者8人のうち、信号無視などの「違反あり」が5人(62.5%)となっている。

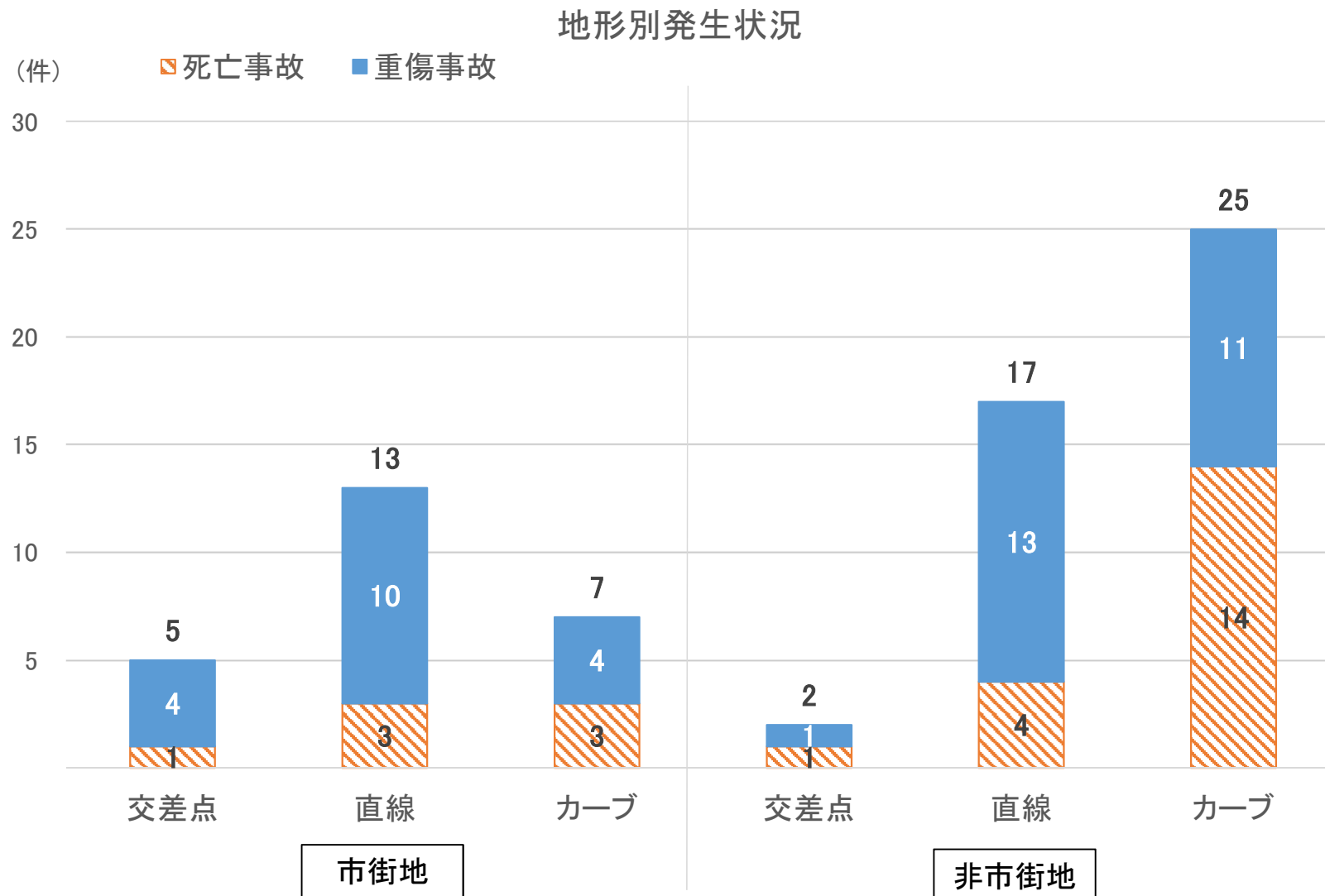
### 3-1 正面衝突・車両単独における時間帯別発生状況(過去5年累計)

死亡事故件数は、14～16時が最も多く、次いで8～10時及び12～14時が多い。  
 重傷事故件数は、12～14時が最も多く、次いで8～10時が多い。



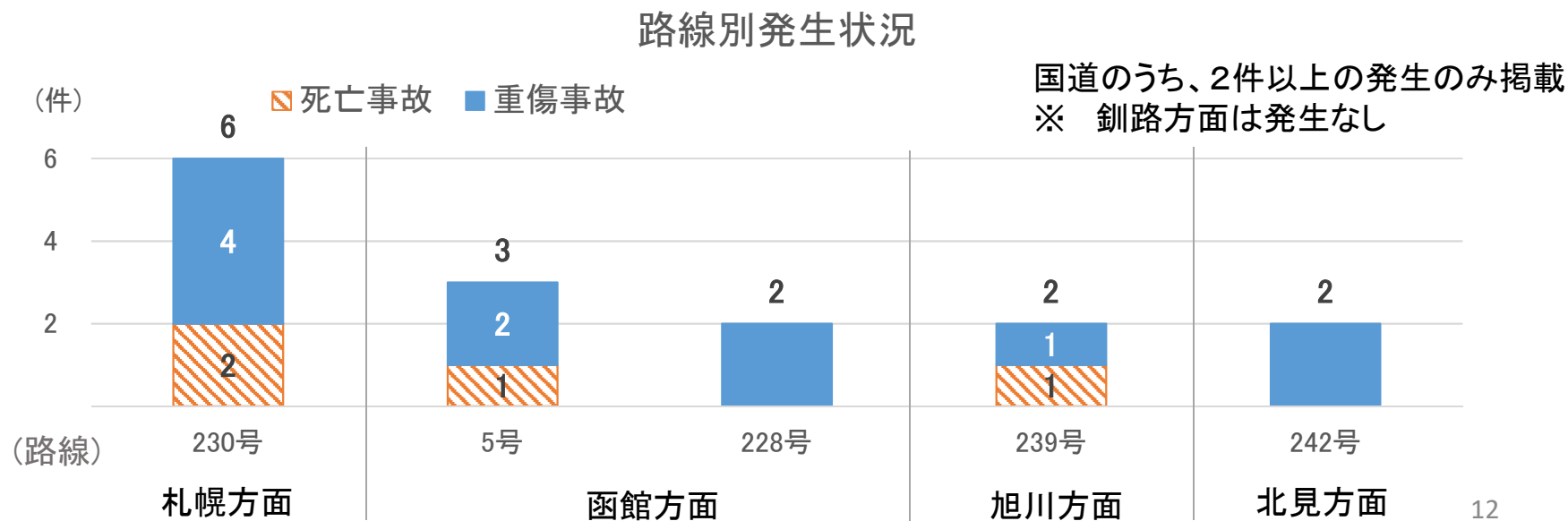
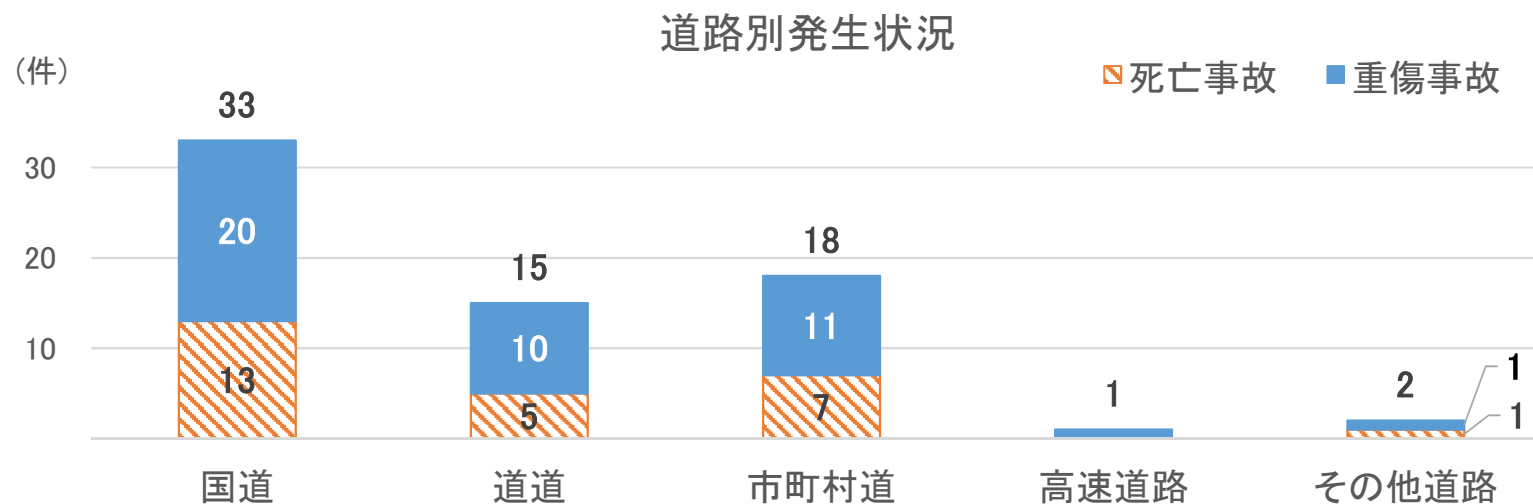
### 3-2 正面衝突・車両単独における地形別発生状況(過去5年累計)

死亡事故件数は、非市街地カーブが最も多く、全体の5割以上を占める。  
重傷事故件数は、非市街地直線が最も多く、次いで非市街地カーブが多い。



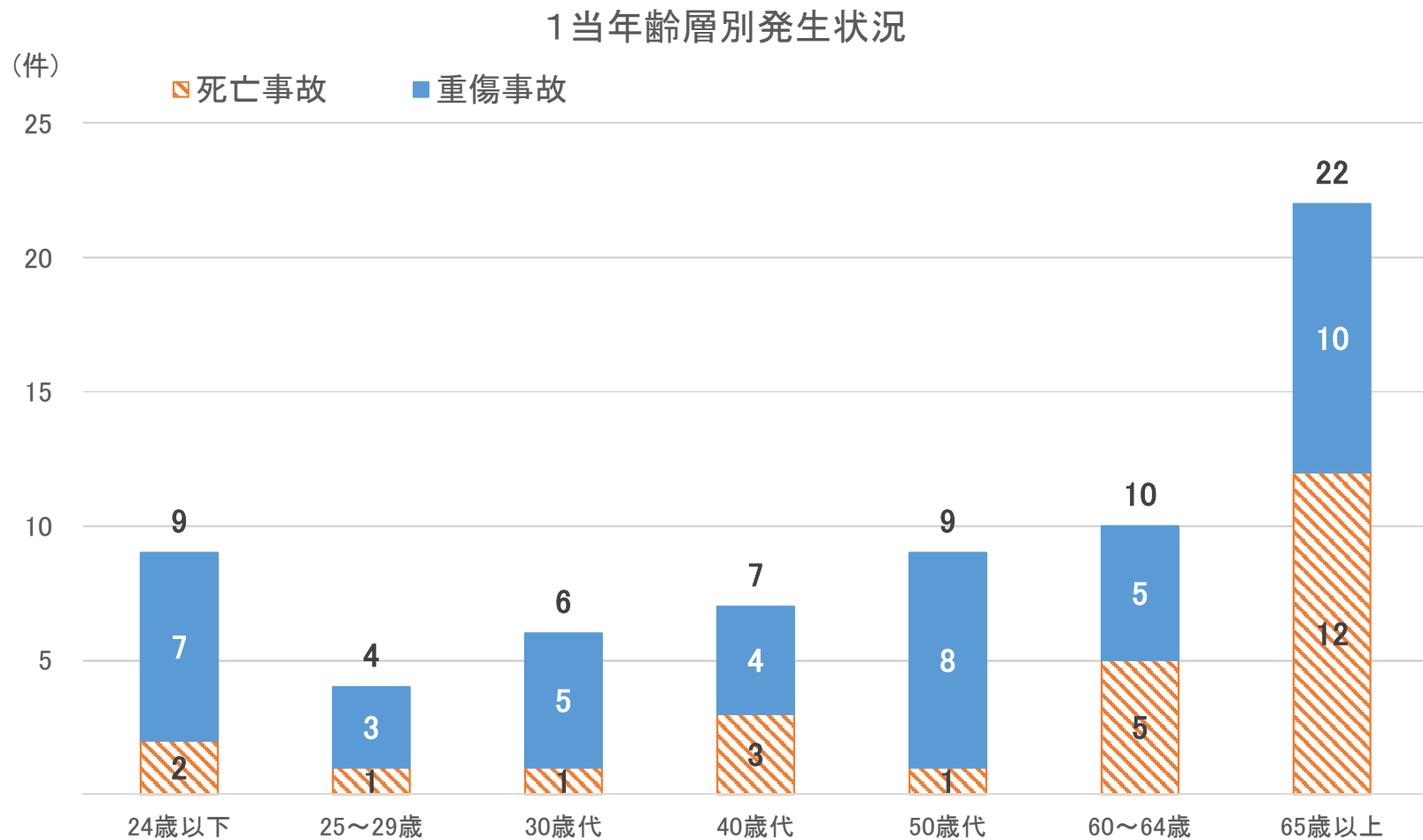
### 3-3 正面衝突・車両単独における道路別発生状況(過去5年累計)

死亡事故、重傷事故ともに国道での発生が最も多く、次いで市町村道が多い。



### 3-4 正面衝突・車両単独における1当の年齢層別発生状況(過去5年累計)

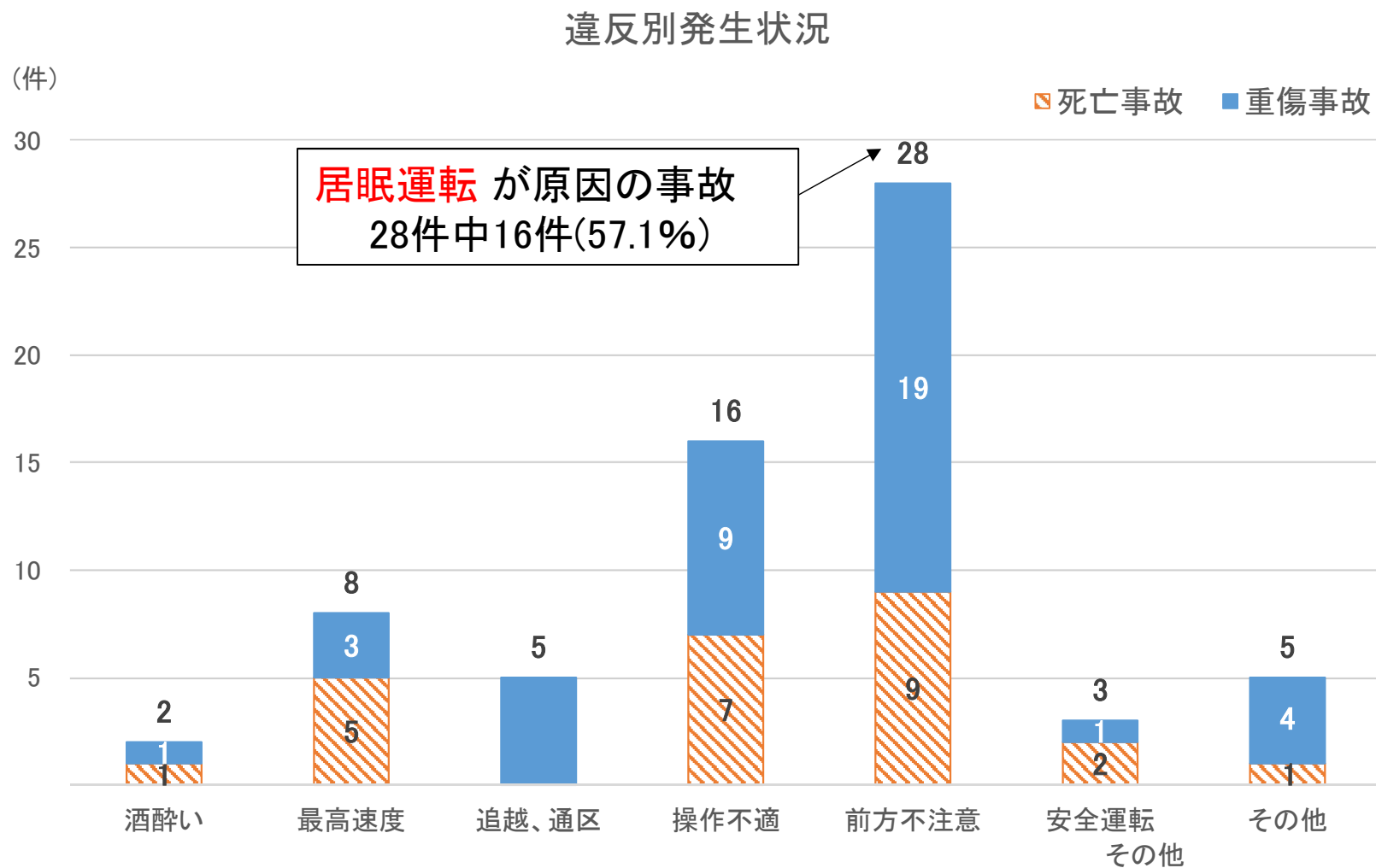
65歳以上の高齢運転者が突出して多い。



※ 1当が歩行者及び自転車の場合を除く

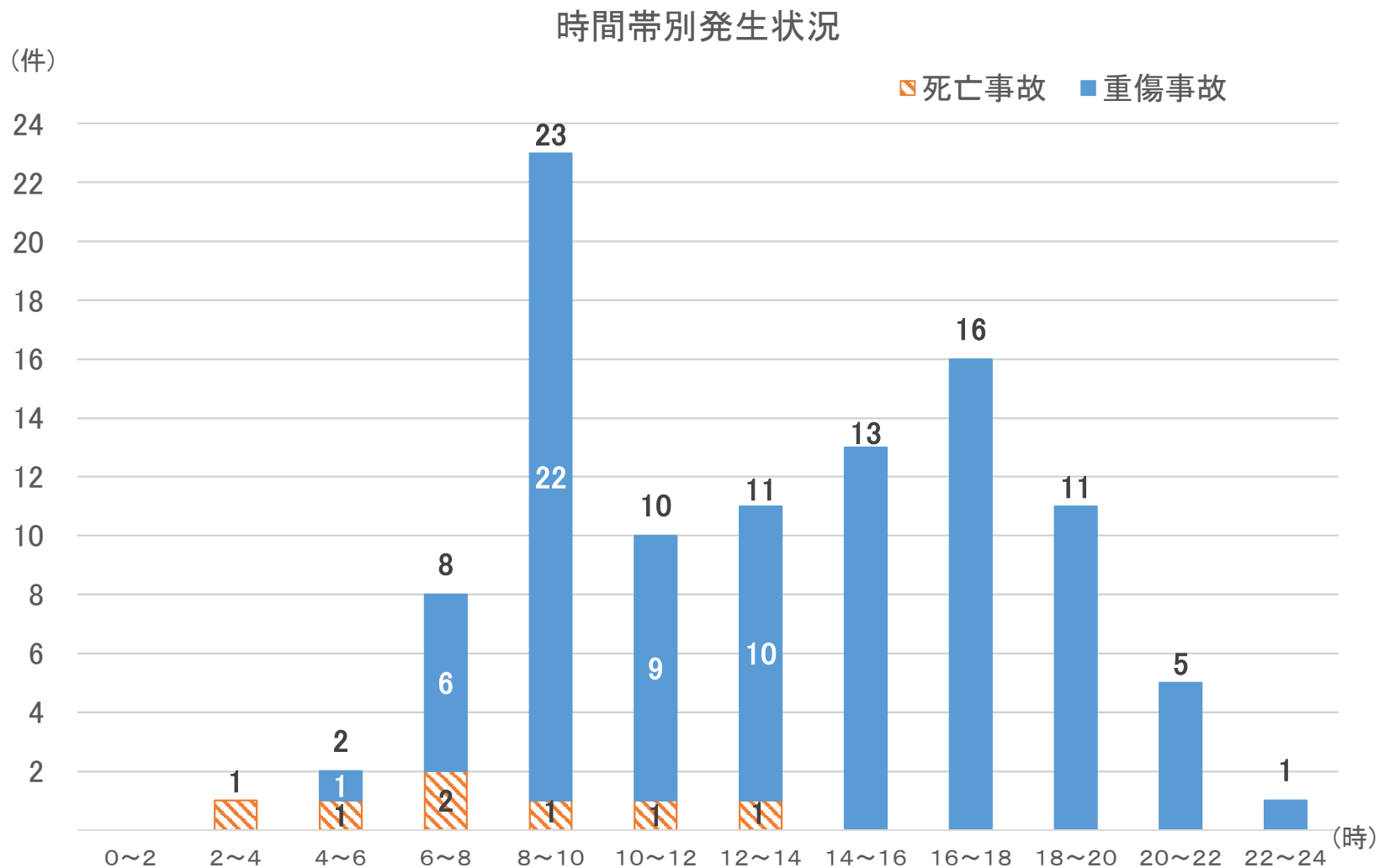
### 3-5 正面衝突・車両単独における1当の違反別発生状況(過去5年累計)

死亡事故、重傷事故ともに前方不注意が最も多く、次いで操作不適が多い。



## 4-1 自転車対車における時間帯別発生状況(過去5年累計)

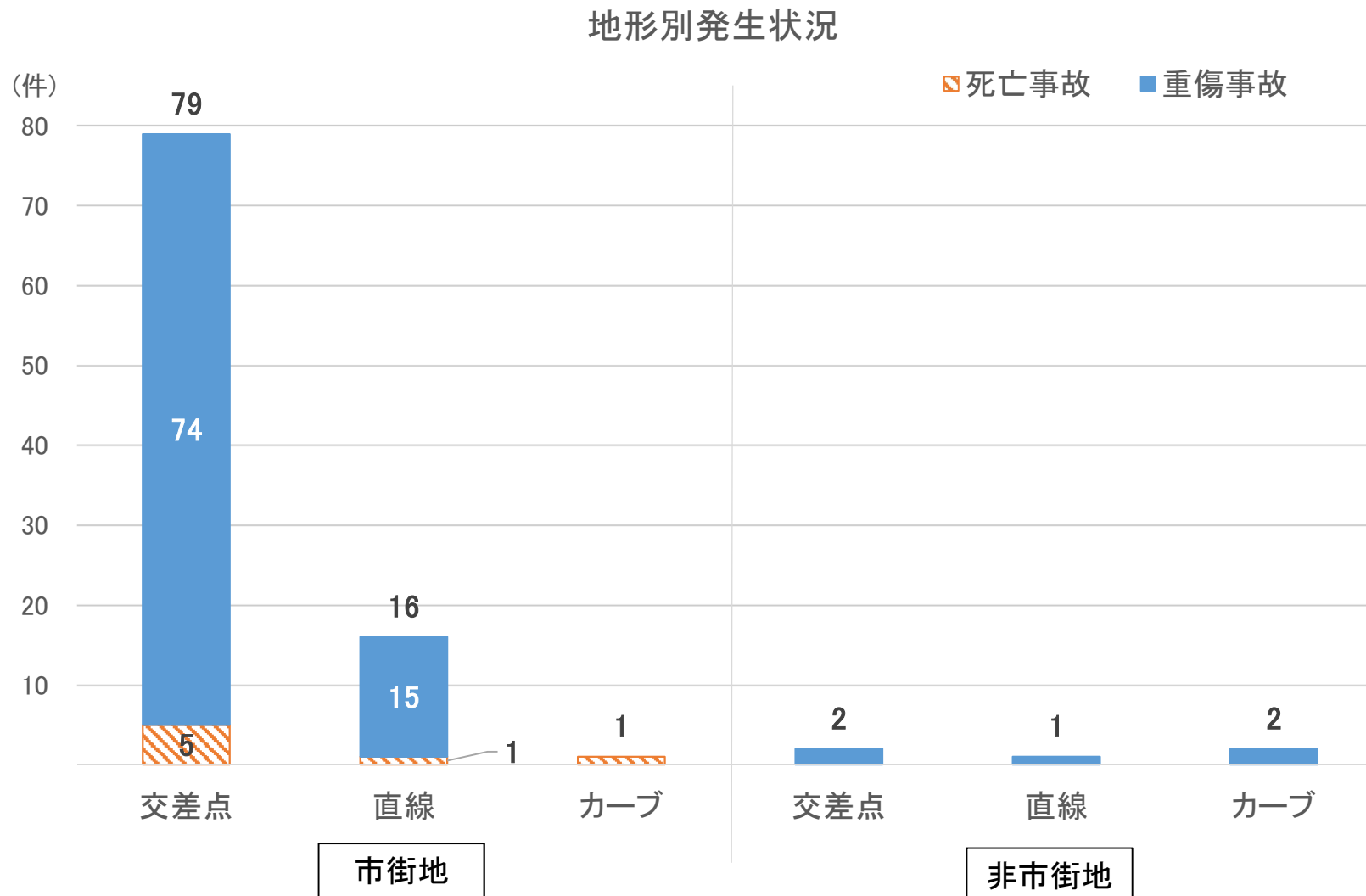
死亡事故件数は、6～8時の発生が最も多い。  
重傷事故件数は、8～10時が最も多く、次いで16～18時が多い。





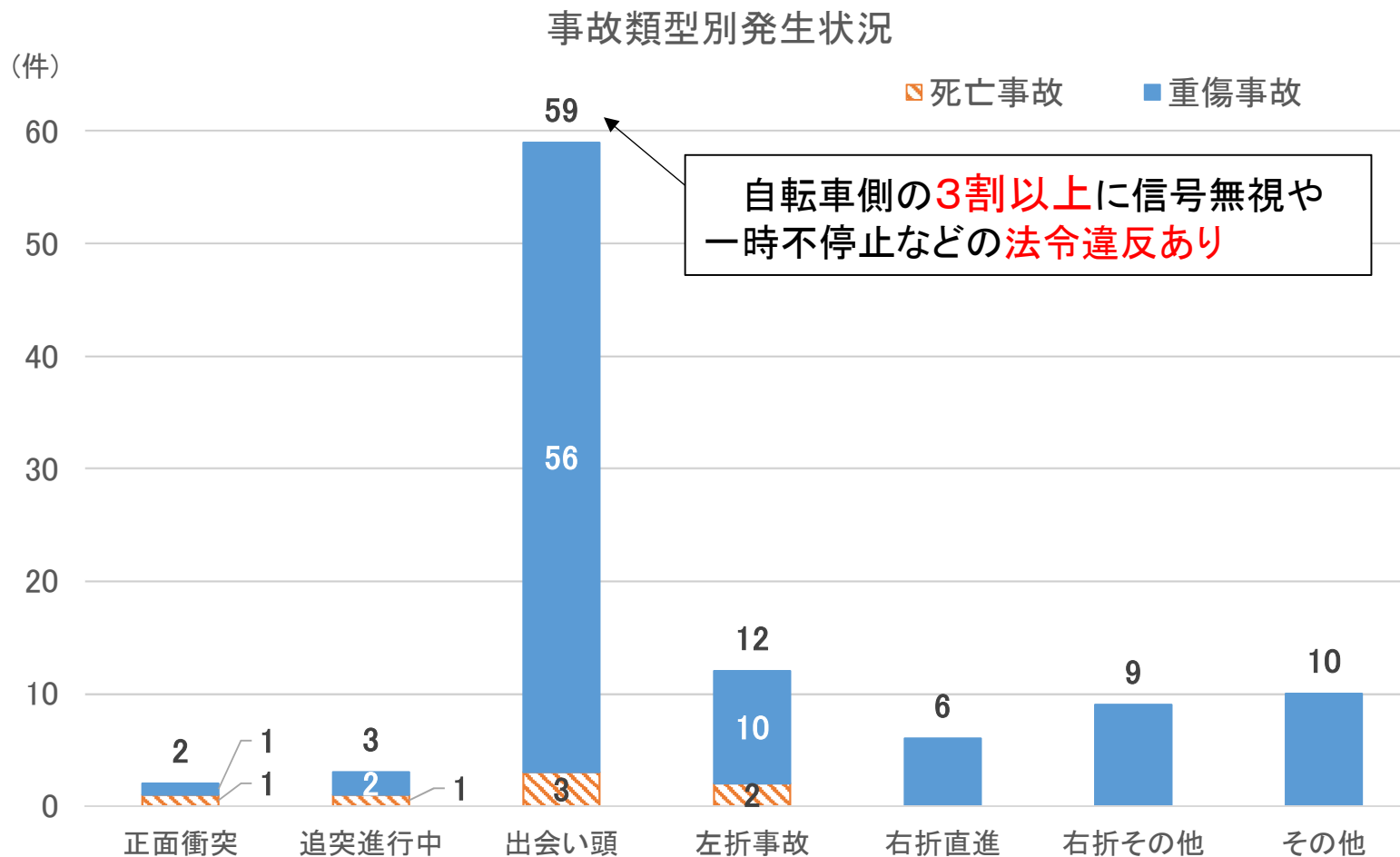
## 4-2 自転車対車における地形別発生状況(過去5年累計)

市街地交差点及び市街地直線で9割以上を占めている。  
死亡事故は全て市街地で発生している。



### 4-3 自転車対車における事故類型別発生状況(過去5年累計)

死亡事故、重傷事故ともに、出会い頭が最も多く、次いで左折事故が多い。



(注)「左折事故」、「右折その他」とは一方の車両等が、左折、右折時に発生した事故をいう。

## 4-4 自転車対車における自転車乗用中の年齢層別死傷者数(過去5年累計)

死亡事故、重傷事故ともに65歳以上の高齢者が突出して多い。  
65歳以上の内、5割は75歳以上である。

